

第 150 回島根県立大学教育研究評議会議事要旨

(令和 2 年度 第 6 回)

- ・日 時 令和 2 年 10 月 28 日 (水) 15:00～16:15
- ・場 所 浜田キャンパス本部棟会議室 出雲キャンパス大会議室
松江キャンパス大会議室
- ・出席者 清原学長、山下学長代行、井上厚史副学長、石橋副学長、岸本副学長、
林総合政策学部長、梶谷看護栄養学部長、岩田人間文化学部長、福原北
東アジア開発研究科長、犬塚教務部長、吾郷教務部長、松浦教務部長、
濱田学生生活部長、名和田学生生活部長、小柳学生生活部長、狩野別科
長、李北東アジア地域研究センター長、小池事務局長
- ・欠席者 藤原しまね地域研究センター長

○第 149 回教育研究評議会の議事要旨の確認について

第 149 回教育研究評議会の議事要旨について、原案どおり承認された。

《審議事項》

(1) 理事長候補者の推薦について (浜田キャンパス)

事務局から、理事長候補者の推薦について、資料 (略) により説明があり、承認された。

(2) 秋学期非常勤講師の任用について (浜田キャンパス)

林総合政策学部長から、秋学期非常勤講師の任用について、資料 (略) により説明があり、承認された。

(3) 教員人事に係る教育研究評議会人事委員会の構成 (案) について (出雲キャンパス)

石橋副学長から、教員人事に係る教育研究評議会人事委員会の構成 (案) について、報告事項 1 と合わせて資料 (略) により説明があり、承認された。

(4) 島根県立大学浜田キャンパス学生通則の改正について (浜田キャンパス)

濱田学生生活部長から、島根県立大学浜田キャンパス学生通則の改正について、資料 (略) により説明があり、承認された。

(5) 島根県立大学大学院看護学研究科長期履修学生規程の改正について (出雲キャンパス)

石橋副学長から、島根県立大学大学院看護学研究科長期履修学生規程の改正について、資料 (略) により説明があり、審議の結果、今回は保留とし、次回以降改めて審議することとなった。

清原学長より、今回の改正趣旨は、コロナの影響で修業年限の範囲内で修了しないことが原因と考えられるが、在学年限内での対応は困難であるのか確認があり、石橋副学長から、今回はコロナの影響で修業年限内では修了せず、個人の都合によ

るものではないことから、授業料の発生しない長期履修制度を活用することを考えていると回答があった。続いて清原学長より、授業料の観点からすると、授業料免除の制度もあることから、どのような対応が一番適切なのか再度検討してもらいたい旨の発言があった。

(6) 島根県立大学人間文化学部編入学等に関する規程の改正について（松江キャンパス）

松浦教務部長から、島根県立大学人間文化学部編入学等に関する規程の改正について、資料（略）により説明があり、承認された。

(7) 令和4年度「入学者選抜における基本方針について（予告）」の記述内容の変更について（松江キャンパス）

岩田人間文化学部長から、令和4年度「入学者選抜における基本方針について（予告）」の記述内容の変更について、資料（略）により説明があり、承認された。

清原学長より、対象は保育教育学科のみか確認があり、岩田人間文化学部長から、すでに地域文化学科は、プレゼンテーションを含むという予告になっていると回答があった。

井上副学長より、受験生からすると、事前準備なしで試験当日にプレゼンテーションを準備してもらおう、というのはかなり大変になるであろうが、この内容で確定なのか確認があり、岩田人間文化学部長から、今回審議となっている内容はプレゼンテーションの要素を追記してよいかどうかであり、資料に記載してあるのは実施方法案であり確定ではなく、いただいたアドバイスを参考に、今後詳細を検討していきたいと回答があった。

(8) 令和3年度以降の浜田キャンパスの学部運営（叩き台）について（浜田キャンパス）

井上副学長から、令和3年度以降の浜田キャンパスの学部運営（叩き台）について、資料（略）により説明があり、承認された。

濱田学生生活部長より、コース会議に事務職員の協力を仰ぎたいことと、委員会の簡素化について、現時点での考えを教えてもらいたい旨の発言があり、清原学長から、運営組織編成の狙いは、各キャンパスの自立型運営を目指すことと、教職員の負担を減らすことであり、他キャンパスの学科会議でも事務職員は出席していないことから、コース会議に事務職員を陪席させるといったことは考えていないが、どうしてもということがあれば、井上副学長に相談してもらいたいと発言があった。また、全学センターについて、キャリアやアドミッションといった必要と思われるセンターは残す予定だが、基本的には各キャンパスの専門委員会の位置付けを考えているとの発言があった。

続いて井上副学長から、委員会の数を減らすというよりは、毎月実施している定例会の回数を減らしたり、各委員会の委員数を減らしたりするよう検討していると発言があった。

(9) その他

なし

《報告事項》

(1) 専任教員の選考開始の学長発議について（出雲キャンパス）

※審議事項3で説明済みのため、省略

(2) 浜田キャンパスクラブ・サークル等活動におけるコロナ対策ガイドライン改訂について（浜田キャンパス）

濱田学生生活部長から、浜田キャンパスクラブ・サークル等活動におけるコロナ対策ガイドライン改訂について、資料（略）により報告があった。

清原学長より、感染予防に気を配りながら、学生の活動を出来る限り認めていきたいと発言があった。

(3) 北東アジア地域研究センター市民研究員の受け入れについて（浜田キャンパス）

李北東アジア地域研究センター長から、北東アジア地域研究センター市民研究員の受け入れについて、資料（略）により報告があった。

(4) 令和3年度以降のしまね地域マイスター制度について（教務連絡会議）

犬塚教務部長及び事務局から、令和3年度以降のしまね地域マイスター制度について、資料（略）により報告があった。

清原学長より、丸山知事が推し進めている島根創生計画に基づき、県内就職を増やすべく、県主導により産官学コンソーシアムを結成したが、今後コンソーシアムの活動が増えるにつれ、県内企業と大学の連携、高校と大学の連携といった、様々な活動が発生する予定だが、その中でしまね地域マイスター制度も新たに注目を集める可能性もあり、おって報告していきたいと発言があった。

(5) その他

清原学長から、障がいのある学生への支援に関する基本方針（案）について、資料（略）により報告があった。

岸本副学長より、国立大学協会が示している例示や、島根大学の規程を参考に島根県立大学の方針案を作成したが、具体的な要領等については、各キャンパスの学生支援担当委員会単位で検討するのが適当であると考えてるので、今後対応していただきたい旨の発言があった。

次回開催予定：令和2年11月25日（水）